

## 第1・2学年 学級活動(2) 指導案

令和元年7月10日(水) 第6校時  
土佐清水市立幡陽小学校  
児童数 1年1名 2年1名  
場所 1・2年教室  
指導者 深原 有恵

1. 題材 「地震が来たらどうする？」  
学級活動(2)ウ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」

2. 題材について

- (1) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに春の遠足や授業中に地震・津波を想定した避難訓練を通して安全に避難することを学習している。6月には起震車体験を実施し、震度5強の揺れを体感することができた。また、生活科の時間に校区探検をして、地域には避難場所や避難誘導の看板などがあることも発見し、調べて分かったことを大岐探検マップにまとめる学習をしてきた。それから、「津波から命を守るために」のDVDを見て地震の恐ろしさを知り、学習したことを基に防災標語や防災ポスターの作成にも取り組み、防災に対する意識を高めてきた。また、図画工作では身近にあるものでペットボトルランタンを作ったり、防災キャラクターを考えたりして防災教育の取組を教科横断的に進めてきた。こうした取り組みによって児童の防災への関心は徐々に高まってきている。第1回防災アンケート(5月)の結果を見ると、「あなたは、地震が起きた時に、自分で判断して揺れから身の安全を守ることができますか。(家や建物の中にいる時)」の質問に100%(2名中2名)の児童が「知っている」と答えている。「あなたは、南海トラフ地震について、もっと学習したいと思いますか。」の質問に1・2年生ともに「思う」と答え、その訳として「命を守るために学習したい。」と書いていた。全体的に地震からの危機回避の意識は高まってきていると思うものの、一人である時に自分だけで冷静な判断や行動ができるかどうかについては不安が残る。

- (2) 題材設定の理由

本校は、市街地郊外の高台にあり、第2避難場所になっている。しかし、児童の過半数は津波浸水地域に自宅があり、今後30年以内に70~80%の確率で起こるとされる南海トラフ地震の予測によると、甚大な被害が予測されている。最大クラスの地震発生の場合、校区では、震度6強~7、30cmの津波到達時間10分、津波高は15mと想定されている。今年度、低学年の重点目標として「災害に関心をもつことができるようにし、災害時の安全な行動について考えることができるようになる。」「災害により引き起こされる危険を感じ、大人の指示に従うなどして適切な行動がとれるようになる。」「災害時には、自分で危険を回避し、大人と連絡ができるようになる。」ことをあげている。しかし、授業中の避難訓練は実施済みだが、教室に一人である時の避難訓練はまだ実施していない。そこで、南海トラフ地震に備え、どのような時でも自らの命を守ることができるよう、本題材を設定した。

本時の学習では、これまでに学習してきた地震や津波に関する基礎知識を基に、教室に一人である時に地震が発生したら、どのような危険が予測されるか、その時、自分の身を守るにはどのような対処をしたら良いのかを考えさせたい。また、いざという時に適切に身を守ることができるよう、今、自分がすべきことを自己目標として書き、考え

させたい。

3. 学級活動 (2) 「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の評価規準  
(第1学年及び第2学年)

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練(春の遠足や授業中)の振り返りをし、教室での避難行動を想像してみる。</li> <li>・アンケートに回答する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教室で地震に遭った時、自分の命を守ることができるか?」「一人の時でも身を守る行動ができるか?」と投げかけ、問題意識を持たせておく。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で地震に遭った時、どう行動しどこへ避難するか問題意識を持つ。(発表・反応)</li> </ul>

5. 本時のねらい

教室で地震が起こった時に、適切に身を守ることができるよう、自分がすべきことを考えることができる。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
導入 (5)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケートの結果を伝える。</li> <li>2. 教室にいるとき、震度6強の地震がおきたらどうなるかを予想し対応の仕方を考える。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果を伝え課題意識を持たせる。</li> <li>・震度6強の揺れがどのくらいなのかを想像させる。</li> <li>・動画を見せる。 「南海地震に備えちよき」 ②揺れ編</li> </ul>	
	<p>「震度6強の地震が起きたらどうなるだろう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れて立ってられない。</li> <li>・物が倒れる。</li> <li>・窓ガラスが割れる。</li> <li>・蛍光灯が落ちてくる。</li> </ul>		

	<p>3. 地震が起きた時、教室にはどんな危険があるのかを考え、自分の身を守るためにはどのように行動したらよいか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に教室を見て考えさせる。</li> </ul>	
	<p>教室で地震が起こった時、自分の身を守るためには、どのように行動すればよいだろう。</p>		
<p>展開 (30)</p>	<p>「ベランダにいるときはどうしたらよいだろう。」</p> <p>4. 教室で自分の身を守るためにはどのように行動したらよいかをペアで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベランダにいるとき</li> <li>・席から慣れているとき</li> </ul> <p>5. ペアで話し合った内容を発表する。</p> <p>6. 安全に避難をするためにはどうしたらよいかを確認する。</p> <p>「教室にいる時、地震から身を守るためにはどうしたらよいかまとめよう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを準備しておき、記入させる。(一人学び)</li> <li>・ペアで話し合う。</li> <li>・発表ボードにまとめる。(とも学び)</li> <li>・発表ボードを全体に見せながら発表させる。</li> <li>・大切なキーワードを児童の発言から拾い上げてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れからの身の守り方の基本として「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に身を寄せ、頭を守る行動の大切さを理解している</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b> (ワークシート・発表)</p>
	<p>落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所に身を寄せ、頭を守る。</p>		
<p>終末 (10)</p>	<p>7. 教室で地震に遭った時、自分で身を守ることができるように自分が今すべきことを考え、発表ボードにまとめる。</p> <p>(自己目標の決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に備えて上履きを必ず履く</li> <li>・机があるところとないところを確かめておく。</li> <li>・自分のヘルメットを取りやすいところに置く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己目標を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で地震が起きた時に適切な身の守り方ができるよう、自分がすべきことを考えることが出来ている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・実践】</b> (発表ボード)</p>

7. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>・自分が立てた自己目標を 実践し、振り返りをす る。</p>	<p>・本時で立てた身を守る行動につ いての自己目標が実践できたか振 り返る場を設定し、評価する。</p>	<p><b>【思考・判断・実践】</b>          ・自己目標の内容について          進んで実践している。          (ワークシート・発言)</p>

## 8. 板書計画

防災アンケート 結果より	めあて	教室で地震が起こった時、自分の身を守るためには、どのように行動すればよいだろう。
教室の写真	自分の身の守り方	まとめ
		落ちてこない、 倒れてこない、 移動してこ ない場所に身 寄せ頭を守る。
		自己目標
		自己目標